

平成 2 8 年度 事業計画

I. 総務関係

1. 会議の開催

(1) 評議員会

平成 2 7 年度事業報告及び決算報告、平成 2 8 年度事業計画及び収支予算、評議員・理事・監事の選任、その他事業運営上の重要事項について審議・決定する。

(2) 理事会

代表理事・業務執行理事の選定のほか寄附行為に定める事項について審議・決定する。

(3) 地区運営委員会

横浜地区の 2 施設及び他の施設ごとに設置している運営委員会において、施設の利用促進、維持・運営等に関する諸問題について検討する。

(4) 館長会議

館長会議を開催し、施設の事業運営方針等について必要な指示を行うとともに、利用促進、施設の保守等運営上の課題について検討する。

2. 職員研修

(1) 管理者研修

自立運営体制の確立を目指し、各施設の運営全般にわたる事項について意見を交換するとともに意思疎通を円滑にし、施設間の広域的な連携を図れるよう管理者を対象とする研修会を開催する。

(2) 実務担当者研修

職員の資質向上を目的に、業務の効率化、サービスの向上、営業活動、コスト管理等について、職種や業務内容に応じた実務担当者の研修会を開催する。

II. 業務関係

1. 事業活動

(1) 各施設の運営

当協会の役割は、日本船員とその家族に対する福利厚生事業を行い、日本海運並びに水産の発展に寄与することを目的としている。このため、船員・海事関係者等に快適な宿泊施設を提供するとともに、施設周辺地域を訪れる一般の利用者にも適正な価格と質の高いサービスを提供するとともに、海運・港湾・水産業に対する理解をより深めてもらう公共施設として健全な運営を目指している。

2020年7月下旬に開催が決まっている東京オリンピックの期間中の東京を中心とした首都圏のホテル需給が見込まれている。横浜市においても競技施設への交通が便利であるとともに日本の港町として有名な観光地であるので、外国人の宿泊者の増加が見込まれ増益の好気と予測されている。

横浜地区のナビオス横浜及びエスカル横浜の2館においても宿泊営業の増加と収益上昇の絶好な時期と考えている。

しかし、全国的な規模で乱立が続いているホテル業界の動向は変わっていないこともあり、低価格競争は相変わらず激しく、公共施設を運営する当協会は依然として厳しい運営を余儀なくされている。

このような状況の中ではあるが、施設の健全運営をめざし、運営環境、市場動向及び収支状況等に関する運営情報を共有し、業務の効率化、コスト削減を実施することにより収益向上を目指していくこととなる。

本年も本部・施設が一体となり、実績を積み上げていくこととする。

① 営業部門

イ 船員とその家族及び海事関係者の利用を促進のため、海運会社、港湾事業者、水産会社、海事・水産関係教育機関や同窓会等との法人契約を締結した団体に対する周知活動を引き続き行い利用者増加に取り組む。

ロ 施設の存在を広くアピールするため、周辺企業や教育機関への訪問、ダイレクトメール、インターネット、ホームページ等を充実するとともに、季節プランや年齢層に応じたプランなど各種のプランを作成、周知徹底し利用者拡大に取り組む。

ハ 海のない県の旅行代理店との連携を強化し、小・中学校の修学旅行等で、海や船に親しむ機会を持つ企画などを提供し利用促進に取り組む。

ニ 施設運営委員の協力を得ながら、自治体の港湾・産業振興・観光部門、コンベンション業界等の組織、団体との連携を密にし、地域における集客情報を得て、引き続き利用者増加に取り組む。

ホ 施設周辺に存在する競技場・体育館等公共施設の運営情報、企業活動情報、一般市民活動等の情報収集により、地域イベントに参画できる企画・商品開発に努め、引き続き利用者増加に取り組む。

ヘ 夏期等季節的な要因で繁忙となる地区の会館については、周囲の宿泊施設の動向を見ながら、運営委員会の理解を得て、適切な価格設定を行い積極的に取り組む。

ト 閑散期には、料金の弾力的な設定を含め各種団体客の誘致に取り組む。

② 管理部門

イ 各館の人員構成を考慮し、可能な人事交流により効果のある教育・研修等を実施し、モチベーションの高い人材の育成に取り組む。

ロ 水光熱の使用量節減を確実に実行してきているが、本年年4月1日から電気の小売業への参入が全面自由化されることにより、消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択でき、電気の売り手やサービスを自由に選べるようになるので、契約変更に当たっては有効な削減が可能かどうかを調査・見積もりにより検討し見極めて決定することとする。

季節及び宿泊利用人数等を考慮した可能な水光熱費の削減に取り組むとともに、各施設のLED照明への交換、節水シャワーへの交換など、消耗品についても細かな管理を行い節減に取り組む。

ハ レストラン等運営の一部業務を外部業者に委託している施設については、業者との連携を密にし、顧客に好評価を得られる業務レベルの維持向上をめざし、改善指導に取り組む。また、必要に応じて委託業者の作業体制及び委託料金等についても見直しを行う。

ニ 当協会の管理部門をつかさどる本部の管理体制については、関係者の理解を得ながらより効率的な体制を整備する。

ホ 全施設に統一した勤怠・給与・人事管理システムを導入し勤務体制の一元化、就労時間管理、人事管理の一元化及び電子データ化を図る。

また、職場意識の改善に取り組み、時間外労働の削減、有給休暇の付与を促進する。

ヘ ナビオス横浜が自前でレストラン営業を開始することによる食材の注文・仕入れ・検品確認や業者への支払い業務及び宴会の予約業務等が増加することに伴い料飲部、管理部（特に経理）及び営業企画部等について組織を見直し・改善を行い経営の充実を図る。

ト 平成27年度に行ったナビオス横浜の経営診断結果を踏まえ業務の改善及び適切な経営を実施する。

（2）施設整備

施設の計画的な整備は、運営基盤を安定させるために欠かせない課題であり、時代の要請や利用者の求める設備改善にも中・長期の施設整備計画を基本に各施設の運営状況を勘案し、可能な限り取り組んでいる。

施設の改修・改装は、中・長期の施設整備計画に基づき、資金投入の有効性を見極めながら、港湾管理者である地方自治体や海事関係団体の理解と協力を得て、施設整備を図ることとする。

① ナビオス横浜

イ 自前でレストラン営業を開始することによる店内のリニューアル（テーブル、椅子、カーペット等の新替え）、通風の改善等を実施する。また、シーメンズクラブにおいては来客者が港風景を堪能するため、また有効に施設空間を充実させ魅力ある店内にするために窓側への座席の増設及び食事

しやすい高さのテーブルに交換等を行う。

ロ 開業以来使用してきたホテルP B X（電話交換機）システムをメーカー保守対応期間が終了になるため新替える。

ハ このため、地方自治体及び海事関係団体の理解と協力を得て実施する。

② エスカル神戸

イ 客室の空調機は、経年により故障が発生するため、計画的に新替えを実施しているが、本年は洋室の空調機を新替える。

ロ 団体客の利用が多い和室について、畳表の裏返しを実施する。

ハ このため、地方自治体及び海事関係団体の理解と協力を得て実施する。

③ 他の施設については、清潔で快適な環境を提供するための整備及び付属設備の更新に取り組むこととし、その実施に当たっては、予算計画に沿って適正に行うこととする。

2. 施設業務監査の実施

本部監査員による施設運営・人事管理・会計経理関係等の業務監査を実施することにより、各施設の健全な業務運営を確保する。